



2022年
(通巻91号)

秋

ちばケアマネ通信

2022年10月発行

URL <https://www.chiba-cmc.com/>

発行人 林 房吉
発行所 特定非営利活動法人
千葉県介護支援専門員協議会
〒260-0026
千葉市中央区千葉港4-3
千葉県社会福祉センター 3階
TEL 043-204-3631
FAX 043-204-3632

BCPをつくろう!(その2) ~ 感染症BCP? ~

災害対策委員会

災害や感染症に備えた事業継続計画 (BCP) 作成の必要性や求められる役割等については、前号でお伝えした通りですが、今回は感染症BCPについて考えてみたいと思います。

現在 (いま) 起きている事からBCP作成を

政府は10年ほど前から感染症に対応する事業継続計画 (BCP) の策定を促してきていましたが、他の産業や分野に比べ、医療介護分野のBCP策定は全体として遅れていました。そんな中で、感染力が強い新型コロナウイルス感染症の流行は始まりました。感染者や濃厚接触者の急増で欠勤者が相次ぎ、居宅介護支援や介護サービスの事業継続に大きな支障が発生した現場の混乱は、皆さまご経験のとおりです。今後は皆さまそれぞれが経験を活かし、明日からに備えたBCP作成を急ぐことが求められています。現在 (いま)、起きている事象をまずは貴重な記録として整理し、分析し、スタッフ全員で、そして地域全体で備えましょう。

事業を止めない

感染症BCP作成におけるポイントをいくつか整理します。まず大きな特徴は、不測の事態に備え事業を止めないことが前提になります。こう書くと当然のように思えますが、このためには欠勤させる職員の範囲を決めたり、労務管理を見直したり、代行者を業務ごとに設定したり、新たに発生する業務 (消毒作業や情報開示など) への対応を行なうなど、特に人への被害や影響について準備し対応する姿勢が求められます。

地域における感染症拡大に備え、介護支援専門員は特に、利用者の支援の継続や代替プランの作成、連絡調整、場合によっては健康観察や生活支援など現実に即した計画立案が必要となります。在宅勤務の手段や範囲など、ICTを活用した業務や情報管理を点検する良い機会と捉えるべきです。

経験を活かそう!

厚生労働省のガイドラインからは、感染症BCPでは、①平時の対応と準備 ②感染疑い者発生時の行動基準 ③初動対応 ④検査 ⑤感染拡大防止体制の確立 の5つ視点で準備を求めています (フロー図参照)。地域関係者や関係機関との協働は、介護支援専門員が本来、得意とするところです。この技能を活かし、ここ数年の経験や知見をもとに地域住民を守り、自分自身を守るため、「正しく知って、正しく恐れる」ことは、言うまでもありません。

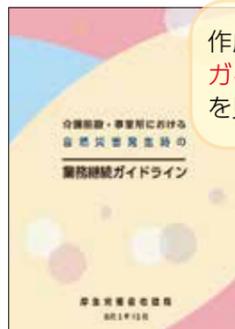
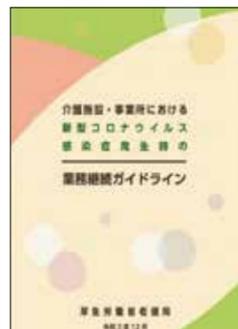
BCP作成の参考となる文献のご紹介

○厚生労働省HPに掲載がある資料

厚生労働省 BCPガイドライン

検索

自然災害、感染症のガイドラインに加え、BCP作成に便利な様式ツール、ひな型が掲載されています。すでに多くの方がご存じだとは思いますが、これから作成に取り掛かろうと思う方、すでに作成した方も含め、定期的に中身を見てみるとよいでしょう。



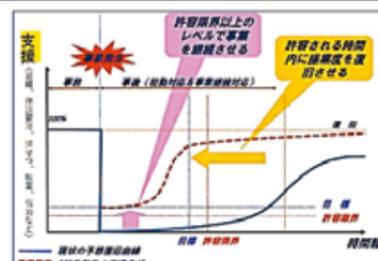
作成の基本となる国が示しているガイドラインです。定期的に中身を見返してみましょ!

日本介護支援専門員協会が発行しているマニュアルにもBCPについて解説しています!

事業継続計画 (Business Continuity Plan、BCP)

目的は2つ!

- ①災害時でも目標レベルの業務を維持継続させる。
- ②できるだけ早く、福祉施設(事業)を復旧・再開させる。

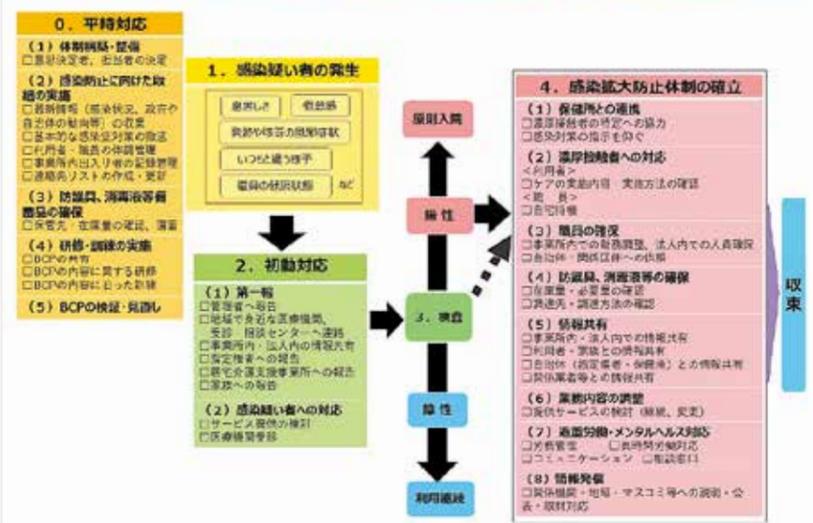


- ・ライフラインを守る
- ・迅速かつ的確な判断、指示
- ・人の確保
- ・収入 (事業継続) の確保

2022/09/09

図 1.1-1 事業継続計画 (BCP) の概念* 内閣府BCPガイドラインより抜粋 (*一部改変)

新型コロナウイルス感染 (疑い) 者発生時の対応フローチャート (訪問系)



出典: 厚生労働省老健局「業務継続ガイドライン」(感染症発生時) 令和2年12月より



令和3年度版には当初のひな型に「例示入り」の状態です示されています!



感染症と自然災害に分かれ、サービス区分ごとに解説動画があります!

次回 (第3回) の予定

BCPをつくろう! (その3) ~ 自然災害BCP ~

市原市ケアマネジャー連絡会

世話人代表 百目鬼 順子



【市原市の紹介】

房総半島の中央に位置する市原市は、県内最大の面積を誇り、東京湾に面する北部には国内最大級の石油化学コンビナートや良質なベッドタウンが広がり、南部は養老溪谷などの豊かな自然や日本一のコース数を誇るゴルフ場など、国内経済やレジャーの中心となる魅力が広がっています。人口約27万人のうち高齢化率は29.2%です（2020年4月）。現在、市内9ヵ所の地域包括支援センターと福祉総合相談センター（市役所内）が設置され介護福祉事業者・医療機関・地域の活動団体等の心強い存在となっています。

【連絡会について】

平成14年に発足し現在の会員数は245名です。主な活動内容は以下の通りです。

1 研修会の開催

参集での研修会を実施していましたが、コロナ禍となり昨年度よりZoom研修を実施。今年度も年2回のZoom研修会を予定しています。



2 ホームページ作成

昨年度より専用のホームページを作成し活用。研修会情報や行政からのアナウンス・介護保険情報など業務に活用できる情報を適宜発信しています。資料や参加申込書など今までは全て紙ベースで行っていましたが、ホームページ作成を機に電子化へと切り替えることで作業効率が大幅にUPしました。

3 各会議体への参加協力

介護保険事業支援計画、市町村介護保険事業計画の作成における情報交換・技術的助言を行う「介護保険事業支援計画 市原圏域連絡会議」、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供する為に必要な支援の検討を行う「市原市在宅医療・介護連携推進会議」など、市原市で行われている8つの会議体に連絡会より委員を選出しています。

【これからについて】

コロナの影響により世の中の働き方が変わりつつある中で、市原市ケアマネジャー連絡会も新しいものを取り入れ、働きやすさを追求していくと同時に、利用者支援に支障をきたさぬよう、保険者や関係機関と密に連携をとり資質向上に努めていきます。



法定研修（実務研修）をオンラインで受講してみて

投稿

オンラインでの受講は初めてでしたが、事前に使い方の説明を数日間設けてくれていたので、安心して望めました。

前期9日間と後期8日間 計17日間（90時間）なので、受講前は長いように思いましたが、いざ終わってみると、『あっという間』でした。

講義を聞いているだけでは、理解出来なかったことがあったり、途中途中にあったミニテストの設問に対して、何をどう答えれば良いのか？何を話せば良いのか？自信もなければ緊張や不安でいっぱいでした。でも、一日一日と研修が進むにつれて、今日は司会、今日は発表など普段やり慣れていないことだけど、他の受講生の方のフォローや様々な意見・発言があった事で、段々と慣れてきて、自分自身も成長出来ている！と、自信が持てたような錯覚もあり、日々楽しく講義を受ける事が出来ました。

オンラインについては、指定の時間に入室していないと、欠席扱いとなるルールがある為、早めに準備はしていたが、当日パソコンの不具合で動かなくなり、欠席扱いになってしまった事が1度ありました。それがトラウマで、少しでもパソコンの異常を感じたら、自宅は諦め、2回程、職場で受講する事がありました。

オンラインは便利な反面、不具合が生じてしまうと受けたくても受けられないという事が発生してしまい、後日の補講にも時間を要し、そこだけが不便な面でした。

実習3日間においても、居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員から指導を受けました。

コロナの影響でご利用者様宅には訪問出来ず、事例を元に初めてのケアプラン作成をしたり、課題や提出書類も多く、最初はきちんと出来るか不安は大きかったですが、やり遂げた時の達成感は、たまりませんでした。

これからは、施設ケアマネジャーとして研修の経験を活かしていけるよう、取り組んでいきます!!

T.K





サポート委員会からのお知らせ

「ケアマネスマートダイアリー 2023」 発刊しました!

今年も、当協議会が監修、発刊した「ケアマネスマートダイアリー 2023」を、会員の皆様は無償配布しました。持ち運びしやすいサイズ&書き込みやすいレイアウト&切り取って使えるメモなど、使いやすさにこだわった『頼れる手帳』が、「2023年版」は皆さまのお声をもとにバージョンアップしています!



- ①カバーがリバーシブルになりました。お好きなデザインでご利用ください。
- ②巻末資料編に「障害高齢者の日常生活自立度」「認知症高齢者の日常生活自立度」を追加しました。訪問先でも、すぐに活用できます。

昨年から好評いただいている内容は、そのまま!

- ①月ごとに「月間予定」と「週間予定」をまとめて配置しているので、スケジュール管理がしやすい。
- ②主なサービスの単位数を手帳資料編に収録してあるので、訪問先ですぐに確認・活用できる。
- ③外出先でもスマホで専用WEBサイトが閲覧できるように、QRコードがついている。

購入者だけがアクセスできる専用WEBサイトには、関連法令や運営基準だけでなく、ビジネスで使える時候の挨拶や昭和の主なできごとなど、役立つ資料を多数収録。ダウンロードも可能ですので、ぜひご活用ください!

お役立ちリンク集をご活用ください!

千葉県介護支援専門員協議会のホームページに、ケアマネジメント業務に役立つ情報を確認しやすいように、各種サイトをまとめた「お役立ちリンク集」を作成しています。

「介護保険最新情報」や厚生労働省の関連ページなど、業務に直結したサイトを掲載しています。

内容は随時更新していますので、ぜひご活用ください。

ケアマネジャーの業務をサポート!

お役立ちリンク集

- *令和3年度介護報酬改定関連情報
- *介護保険最新情報
- *新型コロナウイルス感染症関連情報
- *県・市町村の介護保険関連情報

詳細はこちら >> サポート委員会

南関東ブロック研修会の開催日程が決まりました!

令和5年2月18日(土)に南関東ブロック研修会と第104回研修会を合同開催(Zoom)します。

利用者、家族を取り巻く環境が多様化、複雑化する昨今、また、長引くコロナの影響により思うような支援ができない日々が続いていませんか? 私たちケアマネジャーが業務において直面している様々な課題に対して、さまざまなヒントが得られる、そんな研修を企画しました。当日は、日ごろ、奮闘し活躍されている県内各地域のケアマネの皆さまにご登場いただく予定です。「あるある事例」を交えながら、地域共生社会の実現に向けて一緒に学んでいきましょう。

令和4年度 日本介護支援専門員協会
南関東ブロック研修会
千葉県介護支援専門員協議会
第104回研修会

令和5年2月18日[土]開催決定!

オンライン形式 Zoom
定員 300名程度

午前の部 10:00~ 千葉県介護支援専門員協議会 第104回研修会
午後の部 13:00~ 南関東ブロック研修会

午前は、介護支援専門員の地域での活動や実践事例の発表を予定しています。

午後は「基調講演」、さらには南関東(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)各都県のケアマネの皆さまとのパネルディスカッションを企画中です。

午前のみ、午後のみなど、お好きなプログラムに参加でも構いませんが、全てに参加された方には受講証を発行いたします。

現在、地域の介護支援専門員協議会役員の皆様と一緒に企画を練り上げています! 詳細が決定的次第、当会ホームページ、広報誌、当会主催の研修会等でお知らせします。

オンライン研修ですので、県外からも多くの参加が予想されます。千葉県開催の強みを活かしたプログラムとしておりますので皆様のご参加お待ちしております!

Zoomアカウント(ビジネスプラン)を貸し出します!

地域でのオンライン研修をサポート

このたび千葉県介護支援専門員協議会では、Zoomのアカウント(有料ライセンス)の貸し出しを行う準備をしております。介護支援専門員の法定研修もオンライン化が進み、地域主催の会議や研修会もZoomを活用したものが増えております。ご存じのようにZoomライセンスは「無料」のものから「プロ」「ビジネス」に分かれており、多くの地域では無料、もしくは有料ライセンスの「プロ」契約をしているところが多いと伺っております。

100名を超える研修会が可能に!

地域の研修会でも県の研修会を上回るほど大規模で、素晴らしい内容の研修会を企画している地域もたくさんあります。しかしながら、せっかく企画した研修会でも100名を超えると断らざるを得ない現状があるそうです。このことから、当会では地域で活動している介護支援専門員協議会等を支援することを目的に「ビジネス」プランのライセンス(最大出席者300名)を貸し出します。令和5年11月1日から予定です。詳しくは当会HPでご確認ください。

- ※貸し出しはあくまで団体に対して行います。個人への貸し出しは行いません。
- ※対象となる団体は、当会が年に1回主催する「各地域介護支援専門員協議会等 代表者連絡会」に出席している団体となります。

当会広報誌「ちばケアマネ通信」に広告を掲載しませんか?



1/4 ページ	5万円
1/8 ページ	3万円

※全てカラー広告

ご希望の方は、当会までご連絡ください

※広告内容については、審査がございます。

※このスペースは1/8 ページです。

千葉県庁だより 県からの お知らせ

障害のある人に対する差別をなくそう！ 障害者差別解消法が改正され、民間事業者による 合理的配慮の提供が義務化されました

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

正当な理由がないのに、障害のある人へのサービスの提供を拒否することや、必要な配慮の求めに対応しないことは、法律や条例で禁じられています。

障害のある人に対する差別をなくし、障害のあるなしにかかわらず、暮らしやすい社会をつくって行きましょう。

差別ってなに？

不当な差別的 取り扱い	正当な理由がないのに、障害があるという理由でサービスなどの提供を断ったり、制限したり、障害のない人に付けない条件を付けること。 ●障害を理由に受付の対応を拒否する ●障害者本人を無視して介助者や支援者にだけ話しかける ●保護者や介助者が一緒にいないとお店に入れてもらえない
合理的配慮を しないこと	障害のある人から、手助けや心配りをしてほしいと言われた場合に、負担になりすぎない範囲で、障害のある人にとって、生活上のバリアをなくすために必要かつ合理的な配慮をしないこと。 ●代筆可能な書類のため、代筆を依頼したが対応してもらえない ●内部障害のため、お手洗いに近い席にしてほしいと配慮を申し出たが対応してもらえない ●段差があり自力では車いすで乗り越えられないため、事業者に手を貸してほしいと配慮を申し出たが対応してもらえない

守らなければいけないこと

障害者差別解消法が改正され、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化され、公布の日（令和3年6月4日）から3年以内に施行されます。

	不当な差別的取扱い	合理的配慮
国の行政機関・ 地方公共団体等	禁止	合理的配慮を行わなければなりません。
民間事業者 (個人事業者やNPO 法人等の非営利事業 者も含まれます。)	禁止	合理的配慮を行わなければなりません。 (改正前は、努力義務)

【問合せ先】 千葉県健康福祉部障害者福祉推進課
TEL : 043 - 223 - 2935 FAX : 043 - 221 - 3977

介護保険に関するお問い合わせは
☎ 043-223-2387



みんなの 事務局です!! 91

令和5年度専門研修課程Ⅱ・更新研修後期の実施について

今年度の研修は、受講対象者の有効期間満了日を令和5年8月31日までとしました。次回、令和5年度の研修では、令和5年8月末までに終了できるよう日程を設定する予定です。募集時期は3月を予定しておりますが、定期的に当会ホームページをご確認ください。コロナ前のような年間計画を出せずご不便をおかけしますが、安全安心の研修実施のためにご理解いただきますようお願い申し上げます。

当会ホームページ▶
<https://www.chiba-cmc.com/>



研修委員会からのお知らせ



1 第101回研修会について【ご報告】

令和4年8月21日(日)に「実践力向上！高齢者のお口の機能と口腔ケア～歯科医師との効果的な連携のしかた～」をテーマに、千葉県歯科医師会理事 水町裕義氏^{みずまちやすのり}を講師にZOOMミーティングにて実施しました。参加者は174名でした。

日頃なかなかとつきにくい口腔のことについて、3部構成での講演でした。アンケートに回答された方の中から抽選で30名の方に「8029（ハチマルにく）カレー」が当たることからアンケートの回収率は高かったです。

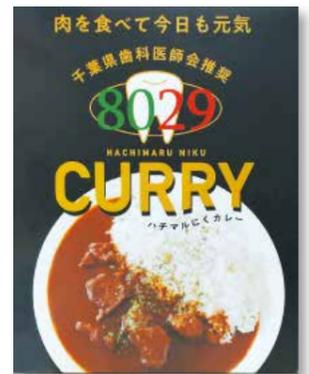
＼ 当選者の喜びの声 /

当選した喜びと、カレーに入っているお肉の大きさの喜びをダブルで感じました。肉もやわらかくこれなら80歳でも食べられると思いました。味も辛すぎずちょうどよいと思いました。美味しくいただきました。ありがとうございました。

8029カレーおいしくいただきました。牛肉おいしかったです。

8029カレー、たいへんおいしくいただきました。私は小学3年生以来、43年間歯医者に行っていません。丈夫な歯を大切に、お肉をたくさん食べて『入れ歯なしの元気な80歳』を目指します。

お肉がおいしかったのでもう少し多く入っているといいなあと思いました。ごちそうさまでした。



2 第102回研修会について【ご報告】

令和4年10月15日(土)午前由市川にある中核地域生活支援センターがじゅまるのセンター長の朝比奈ミカ氏を講師に招き「重層的支援における介護支援専門員の役割～わたしたちは誰とどう連携すればいいのか～」をテーマとして、第102回研修会を開催しました。

日常業務を行っている様々なバックグラウンドを抱えた利用者が増加し、利用者ご本人のみならず、そのご家族にも寄り添う必要も出てきております。朝比奈氏は「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・共同の推進に関する検討会」委員もされているので、貴重なお話を伺うことができました。

3 第103回研修会について【お知らせ】

詳しくは同封のチラシをご確認ください。皆様のご参加をお待ちしています。

編集後記

今年も「今までに経験したことのない〇〇」という内容のニュースが多かったと思います。その中で、私たちの生活も仕事も変化し続けているため、日々対応にも追われていたと感じています。研修もオンラインが主流となってきており、アナログ人間としては苦手意識が強くなる大変なこともあります。慣れてしまえばとても有難い、と感じることも多いです。

私が担当している方で、90歳になってからオンラインゲームを始めた方がいらっしゃいます。何歳になってもチャレンジ精神は大切なんだと気づかされました。そして、勇気ももらった気がします。年齢を言い訳にはできませんね……。

広報委員長 前島 敦子